



令和7年度

公益社団法人 日本補綴歯科学会

第2回 専門医研修会

テーマ：咬合再構成

抄録集

日時：2025年10月5日（日）10：00～12：00

会場：WEB開催（Zoom Webinar）

主催 公益社団法人 日本補綴歯科学会

理事長 大久保力廣

学会事務局：

〒105-0014 東京都港区芝 2-29-11 高浦ビル 4 階

TEL：03-6722-6090

運営事務局：マーケティングインテリジェントオフィス

〒810-0001 福岡市中央区天神 4-6-28 天神ファーストビル 7 階

令和 7 年度
公益社団法人 日本補綴歯科学会
第 2 回専門医研修会

抄録集

目 次

1. 専門医研修会参加の皆様へ	1
2. 専門医研修会タイムテーブル	5
3. 専門医研修会抄録	7

1. 専門医研修会参加の皆様へ

開催概要

開催方式：WEB 開催（ライブ配信＋オンデマンド配信）

日 時：ライブ 2025 年 10 月 5 日（日）10:00 ～ 12:00

オンデマンド 2025 年 10 月 7 日（火）～ 10 月 17 日（金）

（オンデマンドでの視聴は、単位は付与されません。）

単位について

4 単位（本年度中の専門医研修会への参加回数の制限はありませんが、年度内 8 単位を取得上限とします。）

【単位付与条件】

ライブ配信視聴の場合のみ単位付与します。

ライブ配信開始 5 分後以降の入室，終了予定時刻 10 分前以前の退室には単位を付与しません。
アクセスログで単位登録いたしますので，視聴中の通信環境にご留意ください。

いかなる理由があろうとも，途中退出が認められる場合，単位付与はされません。

後日のオンデマンド配信視聴は，参加費をお支払いいただければ何度でも可能ですが，単位は付与されません。

【日歯生涯研修単位】

日本歯科医師会会員の方は，上記と同じ条件で研修単位を付与しますので，申し込みページに
日歯 IC カード番号（6 桁）を記入して下さい。

【アンケート】

単位取得に必須ではありませんが，ライブ配信終了後，Zoom のチャット機能にて運営より
フォームの URL をご案内しますので，ご協力をよろしくお願いいたします。

参加登録

申し込みは、**2段階となっております。** 管理の都合上、お手順をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

参加費（3,000 円）のお支払い方法は、1) クレジットカード決済または 2) 銀行振込の 2 通りとなります。

※登録されるメールアドレスについて

キャリアメール（docomo.ne.jp, ezweb.ne.jp, softbank.ne.jp 等）をお使いの場合、自動返信メールが届かない可能性がありますので、極力キャリアメール以外でのご登録をお願いいたします。

【研修会参加申込フォームはこちら】

https://app.payvent.net/embedded_forms/show/688e1599b26696268af80c7e

（業務委託先の Payvent システム（株式会社 Urbs 運営）に移動します）

＜ご案内＞

令和 7 年度は国内企業および他学会の運用実績をもとにセキュリティ対策を講じたシステムを採用いたしました。

プライバシーポリシー

<https://payvent.net/privacy-policy/>

1. 研修会参加申込フォームにて、必要事項をご入力いただき、お支払方法を選択の上、決済画面へお進みください。
2. 参加登録・参加費のお支払いが完了すると、ご登録いただいたメールアドレス宛に自動返信メールが届きます。
3. 銀行振込の方は、登録されたメールアドレス宛に自動返信メールが届きます。そちらのメールに、お振込み口座が記載されていますので、**10 月 3 日（金）正午までにお振込みください。**

お振込先は、本参加登録システム Payvent が利用している決済代行会社が指定する銀行口座（stripe（ストライプ））へのお振込みとなります。

※同じアドレス宛に Zoom の URL をご連絡いたしますので、自動返信メールの受信を必ずご確認ください。

4. 視聴登録用 URL を入力されたメールアドレス宛に 10 月 3 日（金）夕方から順次お送りいたします。視聴登録用 URL から「ウェビナー登録」の登録ページを開き、登録時と同じお名前とメールアドレス、補綴歯科学会会員番号をご入力ください。登録後、no-reply@zoom.us から参加用のメールが届きます。10 月 4 日（土）になってもメールが届かない場合は、運営事務局（info@hotetsu-specialty.com）へお名前フルネームと会員番号を記載の上メールにてご連絡をお願いいたします。10 月 5 日（日）以降にメールが届いていない旨ご連絡いただいた場合は返金対応いたしかねます（オンデマンド視聴 URL はお送りしますが、単位は認定されません）。BCC メールが届かない方が一定数いらっしゃいますので、ご確認をお願い致します。

※研修会当日には、電話対応致しておりません。研修会当日は、メールに関してもすぐに返信することは難しいことをご了承ください。

参加・視聴方法

上記の 2 段階目の登録終了後に no-reply@zoom.us から届きましたメールからご参加ください。メール下段の「ウェビナーに参加」を押すか、URL をクリックしてください。
当日は 20 分前より入室可能予定です。

参加する皆様へ

1. 使用ツールおよび登録のお願い

本専門医研修会は Zoom 会議システム（ウェビナー）を利用します。専門医研修会開催までに各自にて事前にお持ちの PC、タブレット、または携帯端末等へ Zoom アプリのインストールおよび事前登録の氏名とメールアドレスの入力をお願いいたします。

※アプリからご視聴の際は 10 月 3 日（金）に配信されるメール記載の ID、パスコードをご入力願います。

2. オンデマンド配信について

1. **視聴用 URL は、運営事務局より 10 月 7 日（火）に参加登録者に一斉に E メールにて送信**されます。

2. なお、フリーメールや携帯キャリアのメールは迷惑メールフォルダへサーバーが自動振り分けする場合がありますので、**受信トレイ以外もご確認**いただきますようお願いいたします。

事務局・お問い合わせ

1 単位・参加証・領収書について

公益社団法人日本補綴歯科学会事務局

〒105-0014

東京都港区芝 2-29-11 高浦ビル 4 階

TEL：03-6722-6090

hotetsu-gakkai01@hotmail.org

2 研修会・参加登録について

九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座 インプラント・義歯補綴学分野医局内

〒812-8582 福岡県福岡市東区馬出 3 丁目 1-1

担当：森川

TEL：092-642-6441

※企業委託手数料削減のため事務作業は当教室で行っております。特定商取引法のルールで電話番号は記載しておりますが、電話対応は非常に困難です。

お問い合わせは、フルネームと会員番号を記載の上 メールにて お願い致します。

E-mail：info@hotmail-specialty.com

※自動返信メールが届かないというお問い合わせが増えております。お問い合わせ前に必ず「迷惑メールフォルダ」の中もご確認ください。

2. 専門医研修会タイムテーブル

10:00-10:50

【講演1】咬合崩壊症例の診断と治療選択—保存的アプローチから，咬合再構成による平面・

高径・顔貌改善へ—

座長：松浦 尚志（九州支部）

張 曉旭（修練医・認定医・専門医制度委員会）

演者：米澤 大地（関西支部）

10:50-11:40

【講演2】無歯顎補綴の治療戦略

座長：松浦 尚志（九州支部）

張 曉旭（修練医・認定医・専門医制度委員会）

演者：奥野 幾久（関西支部）

11:40-12:00

【質疑応答】

3. 専門医研修会抄録

専門医研修会 座長抄録

座 長

松浦 尚志（九州支部）

福岡歯科大学冠橋義歯学分野

張 暁旭（修練医・認定医・専門医制度委員会）

長崎大学口腔インプラント学分野

Chairperson

Takashi MATSUURA

Fukuoka Dental College Section of Fixed Prosthodontics

Xiaoxu ZHANG

Nagasaki University Department of Applied Prosthodontics

高齢化が進む現代社会において、咬合崩壊や広範囲な欠損に対する補綴治療の重要性はますます高まっている。とりわけ、咬合再構成は単なる咀嚼機能の回復にとどまらず、顎関節や筋機能、構音、審美性といった多面的要素に配慮した包括的な治療計画が求められる。咬合支持の消失や咬合高径の低下を呈する症例においては、補綴装置の設計が治療予後に直結し、その選択には慎重な判断が必要である。補綴様式の選択は、機能面や審美性だけでなく、患者の年齢、全身状態、生活背景、メンテナンス能力など多くの因子と密接に関係している。固定式補綴は一体感と耐久性に優れる一方、可撤式補綴は修正や清掃性の点で柔軟性を有する。本講演では、米澤大地先生、奥野幾久先生にご講演いただき、臨床現場に即した症例を通じて治療戦略の実際を紹介いただく。多様な患者背景に応じた補綴設計の在り方を再考する機会となることを期待したい。

トピックス

- 咬合再構成
- 機能回復
- 補綴設計の選択

松浦 尚志先生



福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野

略 歴

1990 年 広島大学歯学部 卒業
1994 年 広島大学大学院歯学研究科 修了
1994 年 広島大学歯学部附属病院 医員
1996 年 広島記念病院合同庁舎診療所歯科 勤務
1998 年 アメリカ・ノースキャロライナ大学歯学研究所 研究員
2000 年 福岡歯科大学歯科補綴学講座冠橋義歯学分野 助手
2001 年 福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野 講師
2006 年 福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野 准教授
2019 年 福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野 教授
現在に至る

委員等

日本歯科専門医機構認定 補綴歯科専門医
日本補綴歯科学会 指導医 代議員 令和7・8年度教育問題
検討委員会委員

張 暁旭先生



長崎大学生命医科学域（歯学系）口腔インプラント学分野

略 歴

2013 年 広島大学歯学部口腔健康科学科口腔保健工学専攻
卒業
2017 年 岡山大学歯学部 卒業
2022 年 九州大学大学院歯学研究院 口腔機能修復学講座
インプラント・義歯補綴学分野 修了
2022 年 長崎大学生命医科学域（歯学系）口腔インプラント
学分野 助教
現在に至る

委員等

日本補綴歯科学会 修練医・認定医・専門医制度委員会 委員

専門医研修会 講演 1 抄録

咬合崩壊症例の診断と治療選択

— 保存的アプローチから、咬合再構成による平面・高径・顔貌改善へ —

演 者

米澤 大地（関西支部）

米澤歯科醫院

Diagnosis and strategic management of occlusal collapse

— From conservative treatment to comprehensive rehabilitation —

Daichi YONEZAWA

Yonezawa Dental Clinic

高齢化が進む現代社会において、咬合崩壊や広範囲欠損に対する補綴治療の重要性は依然として高い。近年では、歯周組織の安定と咬合機能の回復が全身健康や生命予後に寄与することが、Hisano ら（2015）Iwasa ら（2019）の疫学研究より示されている。さらに Oki ら（2021, 九州大学, 鮎川ら）の研究は、後方咬合支持の有無が咀嚼能力のみならず起立・バランス機能にも影響し、咬合支持の回復が身体機能の改善に寄与し得ることを示し、補綴介入の医科的意義を補強した。一方で、高齢患者においては、侵襲の大きい治療を避けるべき場合や、治療期間に制約が生じることも少なくなく、すべてにおいて咬合再構成ではなく、診断に基づいた的確な治療方針の決定が求められる。咬合崩壊症例の治療範囲の決定に関しては、Lytle（1964）による局所補綴と全顎補綴の二分法が古典的基準とされ、日本補綴歯科学会ガイドライン（2008）もその流れを踏襲し、咬合支持、咬合高径変化、咬合平面修正の三要素を主要な診断軸としている。本講演では、この診断枠組みを基本に、臨床現場で重視すべき補助的要素として、顎位の安定性、前歯誘導の欠如、審美的改善の必要性などを加味しつつ、保存的治療および局所補綴（Localized treatment）の治療計画立案条件について解説し、長期経過症例を供覧する。さらに、全顎補綴（Full mouth rehabilitation）が求められる症例では、咬合平面の是正、咬合高径の改変、顔貌の改善を含む包括的戦略が必要となり、治療の難易度も増す。そのような症例においては、矯正治療の併用が有効な手段となり、症例を通して解説する。最後に、本講演では、筆者が提唱する OIP（Orthodontic-Implant Planning）コンセプトに基づき、矯正とインプラントを連携させた治療戦略について、症例を通じて紹介する。

トピックス

- 局所補綴 vs 全顎補綴
- 咬合再構成
- OIP コンセプト（Orthodontic-Implant Planning）

米澤 大地先生



米澤歯科醫院

略 歴

1996 年 長崎大学歯学部 卒業

2003 年 米澤歯科醫院 開業

2014 年～ 長崎大学歯学部 歯科矯正学分野 非常勤講師

2017 年～ 長崎大学歯学部 口腔インプラント学分野 臨床准教授

2018 年～ 2023 年

日本臨床歯科学会大阪支部長（大阪 SJCD 会長）

2019 年～ 大阪歯科大学付属病院 口腔インプラント科 CE セミナー講師

2023 年～ 2024 年

日本臨床歯周病学会理事

2023 年～ 日本臨床歯科学会理事 OJ 理事

2025 年～ 北海道大学歯学部臨床講師

専門医研修会 講演 2 抄録

無歯顎補綴の治療戦略

演 者

奥野 幾久 (関西支部)

大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野

Treatment strategy of prosthodontics for edentulous patients

Ikuhisa OKUNO

Osaka University Graduate School of Dentistry Department of Prosthodontics,
Gerodontology and Oral Rehabilitation

21 世紀となり欠損補綴治療分野における Pressed issue は、有床義歯からインプラントへと完全にシフトした。しかし、高齢化の著しい我が国においては、総義歯が過去のものとなったわけではなく、今なお無歯顎症例に対する第一選択であり、この分野はいまだに多くの歯科医師・歯科技工士の多大な関心を集めている。それは、単に総義歯臨床を極めることが最終目標ではなく、無歯顎症例に対して行う顎口腔機能と審美性回復のプロセスが、全顎補綴治療の基本となることが理解されているからであろう。

無歯顎症例では、天然歯による咬合支持が失われた状態からスタートするので、当然すべての症例で咬合再構成が必須となる。しかし、その対象となるのは高齢患者であり、歯科医師が最適と思われる条件を付与した補綴装置を提供しても、なかなか順応が得られず、その対応に苦慮する場面も少なくはない。具体的には、なかなか新しい総義歯が安定せず、いつまでも床下粘膜の痛みに対する調整を繰り返すという具合である。

本セミナーでは、無歯顎補綴の基本となる総義歯臨床の中でも、とくに咬合再構成に関連する項目に焦点をあて、演者が日々の臨床で着目しているポイントおよび安定した顎位を得るための手技について解説したい。

トピックス

- 総義歯
- 顎間関係記録
- デンチャースペース

奥野 幾久先生



奥野歯科医院

略 歴

1997 年 朝日大学歯学部 卒業

2002 年 大阪大学大学院歯学研究科大学院 卒業

2012 年 医療法人歯研会奥野歯科医院 理事長

2025 年 大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座 有床義歯補綴学・高齢者
歯科学分野 臨床教授

所 属

日本補綴歯科学会 関西支部（副支部長）・専門医・指導医

日本口腔インプラント学会 専門医

5-D ジャパンデンチャーコース インストラクター

— 本誌を複写される方に —

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

著作物の引用・転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接本会へご連絡下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

一般社団法人 学術著作権協会

FAX：03-3475-5619 E-mail：info@jaacc.jp

ただし、アメリカ合衆国における複写については、次に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone：978-750-8400 Fax：978-646-8600

— 日補綴会誌への投稿方法 —

投稿希望の方は、下記の URL をご参照のうえ、

ご不明な点は学会事務局（電話：03-6722-6090）までお問合せください。

<http://www.hotetsu.com/t1.html>

日本補綴歯科学会 令和7年度第2回専門医研修会抄録集

令和7年10月5日発行

発行者 大久保 力廣

編集 公益社団法人 日本補綴歯科学会

学会ホームページ /<http://www.hotetsu.com/>

〒105-0014 東京都港区芝2丁目29番11号

高浦ビル4階

公益社団法人 日本補綴歯科学会

電話 03(6722)6090
